

# 2018年度 国際言語文化研究所 萌芽的プロジェクト研究 助成プログラム 記入要領

## (1) 申請調書の記入にあたって

### 「1. 研究代表者」

「募集要項」にある申請資格を満たす人物であること。

研究代表者は、研究課題を統括し、研究計画の遂行、研究成果の取りまとめおよび研究成果の公表など、すべての責任を持つ者。研究代表者(申請者)は、本学専任教員※(有期限の任用者を含む)、または本学専門研究員プログラムにて雇用されており所属が本学衣笠総合研究機構である者とする。

※本学の教授・准教授・専任講師・特別契約教員(教授・准教授)・特別招聘教員・任期制教員(教授・准教授・講師)・助教に限る。

### 「2. 副代表」

副代表は、研究計画の遂行にあたり、研究代表者を補助する役割を果たし、研究成果公表に際して実質的に参画する者。本学専任教員※(有期限の任用者を含む)、本学専門研究員プログラムにて雇用されており所属が本学衣笠総合研究機構である者、または国際言語文化研究所の客員研究員とする。

※本学の教授・准教授・専任講師・特別契約教員(教授・准教授)・特別招聘教員・任期制教員(教授・准教授・講師)・助教に限る。

### 「3. 申請額」

1件あたり上限20万円とする。

### 「4. 研究課題」

対象分野に該当する課題とすること。

### 「5. 研究会名」

研究会の運営に際しわかりやすい名称を付けること。

過年度採択者が再度異なる研究課題で申請する場合の研究会名称は過年度と同一でも良い。

### 「6. 研究組織」

研究メンバーの人数は問わないが、着実な研究推進が可能な体制であること。

研究代表者・副代表者および研究分担者は、多数の研究計画に参画することにより、その責任が果たせなくなることはないよう留意すること。

後期課程院生は、立命館大学に在籍する後期課程院生および一貫制博士課程 3回生以上に在籍する院生で、本研究活動に参画する者であること。

### 「7. 研究目的」

本研究の具体的な目的について、特に次の点に絞り、明確に記述すること。

8 研究の学術的背景 ②研究期間内の研究到達点 ③研究の学術的な特色・独創的な点

### 「8. 2018年度研究計画・方法」

具体的な研究計画・方法を記入すること。また、研究費執行目的との関連、研究代表者・研究分担者を含む構成員の相互関係(役割分担状況)も含めて記入すること。(用紙が不足する場合は追加して記入すること)

### 「9. 研究費の内訳」

執行予定の経費を、項目を立てて記入すること。執行は、本学規程に準じる。執行できる経費については、研究部作成の「研究費執行ガイドブック」を参照。

(研究部HP：[http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/research\\_expenses/re02.html/](http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/research_expenses/re02.html/))

### 「10. 研究成果公開予定」

今後のこの研究プロジェクトでの研究成果の公開予定について、記入すること。

### 「11. 次年度以降の計画について」

今年度の研究到達点をふまえ、今後予期できる展開について、具体的に記入すること。

### 「12. 研究費の採択状況」

現在、受給している研究費を明記すること。

### 「13. 受入教員承認欄」

研究代表者が専門研究員である場合の申請については、受入教員の承認を得てから提出すること。

## (2) その他

・採択後は、年に1~2回程度プロジェクトの進捗状況を確認するためのヒアリングをおこなう。